

## 令和7年度 第2回教育課程研修会 報告書

### 1 目的

AI時代の社会的背景を理解し、「教育の現場でどのように向き合うか」を考えることで、AI時代に対応する教育課程づくりに生かせる視点と心構えを養う。

また、AIに関する課題や問題が生じた際に、その適否を判断するための視点を学ぶ。

### 2 日時

令和7年11月20日（木） 13:25～16:00

### 3 会場

静岡県私学会館 5階大会議室

### 4 参加者

36人（教務部長、教務主任等教務分掌の責任者及びこれに準じる教務担当教諭等）

### 5 概要

13:25 ～ 開会

部会長挨拶 焼津高等学校 校長 野秋 宜成 先生

13:30 ～ 講義・グループワーク

「社会背景から考えるAI時代に必要な力」（60分）

14:30 ～ 休憩

14:40 ～ ワークショップ

「AI時代における教育の在り方を考える」（50分）

15:30 ～ 意見共有・リフレクション（30分）

16:00 終了

### 6 内容

(1) 部会長挨拶 研修会実施の経緯と講師紹介

(2) 講義・グループワーク

ア 社会背景から考えるAI時代に必要な力

イ これまでの社会と今後の社会

ウ AIに関するニュースや事例の紹介

(3) ワークショップ

ア 個人ワーク

生徒がAIを活用する場面をふせんに書き出した後、活用を「認めたい」と「認めたくない」ものに分類した。その分類がどのような観点で行われていたかを言語化した。

イ グループワーク

活用の適否を判断した観点をグループで共有した。

ウ 全体ワーク

活用の適否を判断した観点をさらに全体で共有した。まとめとして、教育現場でAIと向き合うためには「AI観」を持つことが重要であることを確認した。

報告者 副部会長 焼津高等学校 教諭 山下利々佳